

## 『50歳からの地域デビュー応援講座』を実施して

コミュニティビジネス総合研究所  
代表取締役所長 細内 信孝

### 1.はじめに

宇都宮市中戸祭町にある栃木県労働者福祉センター7階の第1会議室において、2012年7月からスタートした『50歳からの地域デビュー応援講座』は、栃木県労働者福祉センター主催、連合栃木生活総合研究所共催の勤労者のための5回にわたる講座である。以下に、『50歳からの地域デビュー応援講座』の講義内容を、当紙面をお借りしてシリーズで紹介するものである。

### 2.最近の社会情勢と当講座の意義

わが国の少子高齢化には歯止めがかからない。2012年度現在、わが国の65歳以上の方の全人口に占める高齢化率は25%を超え、4人に1人が65歳以上という本格的な高齢社会を迎えている。また近年貧富の差も拡大している。それは、年収1000万円以上の人が存在する一方で、年収300万円以下の労働者が増加傾向にあり、中間所得層が減り、2極化の方向に向かっている。非正規の労働者は全労働者の1/3をしめ、不安定な雇用形態となっている。そして生活保護受給者は、211万人を超え、3兆7000億円の供出が必要となっている。国の税収が40兆円前後しかない(赤字国債を同額相当発行し、帳尻を合わせている)という不景気時に、である。一方、定年延長の恩恵にあずかっている(実際は全員が60歳で退職すると年金が満身に払えない可能性が生じる)団塊世代といわれる昭和23年～25年生まれの労働者は、2012年度に無事65歳の定年退職を迎え、地域や家庭に戻る時機を迎えている。わが国の男性の平均寿命も80歳に迫り、女性の平均寿命も85歳に近づく時代である。仮に平均寿命まで長生きすると、今までの勤労時代と同程度の自由時間が獲得できることになる。そのことを踏まえ、退職後の生き甲斐づくりや健康を維持するためにも、地域コミュニティにそうした方々を受け入れるための事前準備や社会参加の場づくり、フォローアップが求められる。こうしたわが国の社会情勢を踏まえて、勤労生活から無事に地域デビューを上手く果たすためには、退職後では遅すぎるのである。50歳代の今のうちから、地域デビューへの移行をスムーズに行うための準備を怠りなく整える必要がある。こうした地域デビューへのスムーズな移行、準備・訓練(退職予定者の地域に対する免疫力を高める)を行うために企画されたのが当講座である。

### 3.当講座カリキュラムと参加の状況

当講座は、2012年7月4日の第1回目開催から、第2回目は7月18日、第3回目は8

月1日、第4回目は8月22日、第5回目は9月5日に開催された。次に示すカリキュラムにもとづいて、各回とも18:35～20:15までの100分間の講義、ワークショップを行った。原則5回通しで参加できる方を広く募集した。参加費は無料だが、テキスト（細内編著『団塊世代の地域デビュー心得帳』ぎょうせい、細内編著『みんなが主役のコミュニティ・ビジネス』ぎょうせい）は実費負担となった。勤労県民の方ならどなたでも参加できるという文言で、約30名の方が参加したが、会場のある宇都宮市の方ばかりでなく、遠くは日光市、さくら市、西方町などからも駆けつけてくれた。地域コミュニティに対する栃木県民の意識の高さが伺える結果である。

#### 50歳からの地域デビュー応援講座のカリキュラム

開催	テーマ	内容
第1回	今こそ、地域デビューのとき	50歳からの地域デビュー心得
第2回	地域への関わり方 一人？ 仲間と？	ボランティア、NPOなど関わり方のかたちを探る
第3回	地域再発見！ 芸術文化、スポーツでまちづくり	アート、音楽、スポーツ、歴史、観光、まずは自分の関心分野から
第4回	キャリアを活かして地域に貢献	地域の安全・安心を守る、福祉に携わる、地域のニーズに応じてやりがいを実感
第5回	第2のキャリアステージは地域にあり	まちの仕事おこし、コミュニティ・ビジネスの考え方を学ぶ

今回は上記カリキュラムに沿って、第1回のプログラム「今こそ、地域デビューのとき～50歳からの地域デビュー心得～」の講義内容をご紹介します。

## 本日のネライ

今まで企業戦士だったお父さんには、  
地域に入っていくのに少し抵抗感があるでしょう。  
まずはいかにして地域デビューを図るか、その  
ヒントを本日は紹介します。



#### 4.今こそ地域デビューのとき～50歳からの地域デビュー心得～

専業主婦で子育てを経験した団塊世代（現在63歳～65歳）の女性たちは、地域におけるネットワークをいくつか持っている。それは子育てを通して培われたPTAのネットワークであったり、子育て卒業後に築き上げた趣味の世界や実益（パートや小遣い程度の稼ぎ）のネットワークであったりする。地域において女性たちは男性よりたくましく、今でも複数のネットワークを持って活動している。それに対して男性陣は、家庭のことは妻にまかせ、会社（職場）一筋に生きてきた方々が大多数といえる。だから退職後のいきなり地域デビューには抵抗感があるだろう。そこで地域コミュニティへソフトランディングするためのポイントを次にまとめてみたのでご紹介しよう。

### 子育て後、得意技で仲間と仕事おこし



すみだリバーサイドネット

Copyright © ホソウチ ハカセ 12

#### 1) 会社員だったお父さんのための地域デビュー心得

まず地域デビューのための始めの一步は、会社人間からの脱皮である。家庭菜園や花卉栽培、映画鑑賞、音楽鑑賞などの趣味の世界でも良いし、いままで培ってきた技やノウハウなど得意技を生かすことも大切である。機械いじりが好きな人は、壊れたおもちゃを直して、たちまち子供たちの人気者になっている。もっと上級になると障害者や要介護者の電動車いすのメンテナンスをボランティア活動の一環で行っている人もいる。

## まちのおもちゃドクター



第二の人生は、  
得意技から仕事おこし

Copyright ホリウチ ハカセ 9

## 得意技で仲間と仕事おこし



Copyright ホリウチ ハカセ 11

また、あなたがもし無趣味な人、会社一筋の人なら、今からでも遅くはない、何か熱中できる時間を持ちましようと呼びかけている。すなわち自分の気の向くまま、地域で好きなこと、楽しいことをするのが精神的にも安心できるのである。できれば同じ趣味や時間を持つ友人を地域コミュニティで作ることが良い。会社員時代とは無関係な分野

や他業界の人と接するのも新たな視点が出てきて良い。そして地域コミュニティにおける人づきあいを柔軟に展開することで、次のステップにもつながるのである。地域コミュニティでは平等が原則で、会社員時代の階層構造はほとんどないといっても良い（ただしこれは都市部でのこと、農村部は違う）。したがって都市部では相互にリーダーシップを発揮しあえば、顔の見える関係も復活し、地域力も増すのである。地域コミュニティにおいては、決して命令口調で年下の人に指示を出してはいけない。ましてや相手をクンづけで呼んだり、地域コミュニティでの会合において座る位置を気にしたり、難しい顔で腕組みをしたり、指示だけ出して自分はまったく動かないなどの行動は慎むべきである。また昔の会社の役職付名刺を持ち歩くなど、会社員時代の上司と部下の関係を思い起こす行動をしてはいけない。女性は、地域コミュニティにおける地域活動の大先輩であると思った方がまわりとの軋轢も少なく、地域コミュニティの皆さんに溶け込めやすいものだ。

## 地域デビューでやってはいけないこと

・しかめ面で、やたら腕組みをすること



Copyright ホリウチ ハカセ 4

### 2) 地域コミュニティの活動や事業から生き活きはつらつ

地域デビューを成功に導くためには、まずは好きなことから始めてみよう。学生時代や会社員時代に培った昔取ったキネヅカを磨き上げ、自分の持ち味、強みを活かしてみよう。蕎麦打ちなどの趣味の世界から始め、本業にしてしまった方もいる。そこには熱い

気持ち、チャレンジ精神が必要だ。何事もやってみようの精神だ。その熱い思いを長く持ち続けることが成功へのポイントなのだ。

### 蕎麦打ちに熱中するお父さん



©CB 総合研究所

近くに大学や専門学校があれば、土日祝日に開催される大学、専門学校の公開講座に出てみるのも良い。時には若い学生と一緒に講座を楽しむことも可能だ。また地方自治体もコミュニティセンターや市民会館などで生涯学習プログラムを提供しているから、市の広報誌やホームページ等を見逃さず、そうしたところのイベントや講座に顔を出してみるのも地域デビューを行う上で有効な手段だ。思わぬところで新しい友が見つかるかもしれない。地域コミュニティで新たな仲間、友人ができることは、次の人生の扉を開く上でたいへん有効なのだ。

もし地域コミュニティのイベントや公開講座の申し込みに躊躇しているお父さんがいれば、奥さんや娘さんが少し彼の背中を押してあげると良い。そうした会合に奥さんが勝手に申し込みをし、引き籠っている家から地域コミュニティに送り出すのである。お父さんもそうしたイベントや講座に参加することで、地域コミュニティにおける顔の見える関係に参加できるのである。地域コミュニティのグループ活動は楽しいものである。次回の会合にまた行きたくなるものだ。この喜びを知ったとき、はじめてお父さんの地域デビューは上手く行ったといえる（つづく）。

<参照ホームページ> <http://www.hosouchi.com>

<参考引用文献>

細内信孝監修『まちにやさしい仕事』CBN

細内信孝著『新版コミュニティ・ビジネス』学芸出版社

細内信孝編著『がんばる地域のコミュニティ・ビジネス』学陽書房

細内信孝編著『団塊世代の地域デビュー心得帳』ぎょうせい

細内信孝編著『みんなが主役のコミュニティ・ビジネス』ぎょうせい

細内信孝・鶴飼修著『コミュニティ・ビジネス起業マニュアル』ぎょうせい

細内信孝編著『地域を元気にするコミュニティ・ビジネス』ぎょうせい

細内信孝著『コミュニティ・ビジネス』中央大学出版部